

## 別記

様式第1号(第8条、第9条、第12条関係)

## 事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年 7月 31日

(宛先)

滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)  
滋賀県近江八幡市長福寺町172番地氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)  
株式会社UACJ押出加工滋賀  
代表取締役社長 田中 数則滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例第25条第3項→第25条第4項  
第27条第1項→第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項

の規定に基づき、事業者行動計画を 策定 (変更)  
事業者行動報告書を作成したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	株式会社UACJ押出加工滋賀 代表取締役社長 田中 数則
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	滋賀県近江八幡市長福寺町172番地

## 1 事業所の概要

事業所の名称	株式会社UACJ押出加工滋賀					
事業所の所在地	滋賀県近江八幡市長福寺町172番地					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	2	3	3	2	※ 産業分類・細分類名称を記載 アルミニウム・同合金圧延業(抽伸、押しを含む)
事業の概要	アルミニウム押出型材の製造					
従業員の数	128	人	操業時間	24	時間/日	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者 <input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者 <input type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	2	台	熱源設備	17	台
	コンプレッサ	5	台	空気調和設備	94	台
				照明設備	100	台
				その他		

## 2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2023	年度	報告対象年度	2023	年度
	終了年度	2025	年度			

## 3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

- 株式会社UACJ押出加工小山(小山、鑄鍛及び滋賀地区) 環境方針 別紙1添付に依る
- UACJグループ環境基本方針 別紙2添付に依る 資料:軽環規程 E-E001-00

2 取組の推進体制

- 公害防止統括者 代表取締役社長
- 環境管理責任者 製造部長
- 推進体制(組織図) ISO14001環境管理組織表 図-1添付に依る。  
資料:軽環規程 E-E006-00-28
- 従業員教育 2023年4月~2026年3月  
教育訓練  
内容:環境スキル教育  
緊急事態への対応訓練  
各年度の環境実績値と環境目標値の報告と周知の徹底

3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

- CO<sub>2</sub>の排出削減の取組については、計画的又積極的に取組んでおります。
- エアコンプレッサーの使用電力削減として、各設備エア漏れ箇所の調査対応を毎週実施し工場エア漏れ0を目指し、電力量削減に取り組ました。又コンプレッサー新規購入時は、容量の見直しと省エネタイプを選定購入し省エネを図りました。
  - 空調設備更新時にも省エネタイプ選定購入しました。
  - 設備新設・更新時のLED照明灯・LED器具の採用を推進継続を実施しております。

## (第2面)

## 4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	ダイス設計変更による押出速度向上と多穴化による生産性UP	2023年度～2025年	継続実施中
2	設備導入	#1P補助ポンプモータIE3に変更しINV挿入	Oct-23	2023年8月完了
3	設備導入	#2P補助ポンプモータIE3に変更しINV挿入	Oct-23	2023年8月完了
4	設備導入	#3P補助ポンプモータIE3に変更しINV挿入	Oct-23	2023年8月完了
5	設備導入	食堂棟(501㎡)総務事務所棟(360㎡)屋根遮熱塗装	May-23	2023年5月完了

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

## (3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
エネルギー原単位をUACJグループ全体で2022年度比1%削減(省エネ法努力目標)	弊社主力の押出事業の受注量減となり、昼夜の連続操業維持が年間を通じて出来る事が無くなり、設備操業立上時における電気炉昇温待ち時間を短縮の為設備停止時も炉内温度を維持する必要があり、カンガ-タイマーを導入し入り、切り時間を制御して、待機時間の電力使用量分を削減しました、又高効率モータ+INVを組合せ工場動力費の削減をしました。結果2022年度比原単位として11%削減

## (4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
		(2023)年度	(2024)年度	(2025)年度	( )年度	( )年度
原油換算エネルギー使用量	kL	2,529	1,966			
温室効果ガス総排出量	t-CO <sub>2</sub>	3,232	3,196			
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	3,232	3,196			
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>					
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>					
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>					
HFCs	t-CO <sub>2</sub>					
PFCs	t-CO <sub>2</sub>					
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>					
NF <sub>3</sub>	t-CO <sub>2</sub>					
エネルギー等原単位の推移		0.2947	0.236			

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	出荷場上屋に太陽光発電システムの設置	2022年11月	2023年6月15日より本格稼働運転中
2	全従業員駐車場内にソーラーカーポートの設置	2024年12月	
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	従業員に電気自動車購入促進を図りとインフラ整備の取組を進めます。
2	太陽光発電軽量パネル仕様を検討し、既設工場屋根設置計画の取組を進めます。
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	105 kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ( )	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2023)年度	(2024)年度	(2025)年度	( )年度	( )年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	110,000	111,650				
上記のうち自家消費量	kWh	110,000	111,650				

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
現状:関西電力から一括購入(使用電力量100%)を全量購入中 変更:新規申込契約で環境価値電力(再エネ電力)2023年4月より全量購入に充ててCO <sub>2</sub> 排出削減に貢献致します。 但し使用電力量1.20円/KWhの環境価値負担となります。	環境価値電力(再エネ電力)2023年4月より全量購入
	CO <sub>2</sub> 削減貢献量
	2,734.9 t-CO <sub>2</sub>

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
受注量の減、燃料費、電力料金が高騰する中での、環境価値電力の購入に踏み切りました。弊社としては、苦渋の決断ではありましたが、UACJグループ環境基本方針に沿い2023年度4月より全量使用電力購入開始に至りました。試算しますと、年間2,988t-CO <sub>2</sub> 削減となります。 更なるCO <sub>2</sub> 削減を目指して、日々の生産性向上、歩留りUP、原単位削減活動をしていきます。

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO<sub>2</sub>削減貢献量の算出根拠

目標の進捗に対する自己評価
CO <sub>2</sub> 削減貢献量の算出根拠

7 その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに資する取組

## (1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( )年度				
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO <sub>2</sub>						
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 【調整後排出係数】	t-CO <sub>2</sub>						
【調整後排出係数】	kg- CO <sub>2</sub> /kWh						
特記事項							

## (2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( )年度				
グリーン証書の購 入	t-CO <sub>2</sub>						
クレジットの購入	t-CO <sub>2</sub>						
特記事項							

## (3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

## (4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
		(2022)年度	(2023)年度	( )年度	( )年度	( )年度
保有車輛の数	台	7	7	7		
上記のうち 次世代自動車等 の数	台	0	2	3		
特記事項		フォークリフトの燃料転換(軽油 → バッテリー)				

(5) その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	3R	廃棄物の分別、再利用、削減を推進し埋立処分量を0ト にする。	2023年度 ~2025年 度	2023年度埋立処分 量0ト
2	グリーン購入	汎用品のグリーン調達購入(エコ調達品)基本にグリーン 調達品の調達率100%とする。	2023年度 ~2025年 度	2023年度100%目 標達成
3	SDGs	水管理の推進(水使用量の削減)	2023年度 ~2025年 度	2022年度水使用量 比26.7%減
4				
5				